

岐阜県立羽島北高等学校

学 校 長

石田 達也

学校所在地

岐阜市柳津町北塚3-110 電話 058-388-3611

1 会議の名称 岐阜県立羽島北高等学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成 評議員

市野 和之 (株)トヨタオートモールクリエイト常務取締役
(都合により欠席)

杉山 英子 柳津佐波女性の会

平松 慎樹 P T A会長

三輪 浩子 羽島北高等学校同窓会

吉村 光弘 柳津町まちづくり協議会事務局長

(委員名は五十音順)

学校側

石田 達也 校長

西村 美穂 教頭

伊藤 登 事務長

庄司 幸宏 教諭

白木 宏司 教諭

村上 宏俊 教諭

3 会議の目的 学校運営について地域住民や有識者等から幅広く要望や意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
(岐阜県立羽島北高等学校学校評議員設置要綱第1条)

4 会議の開催 平成30年6月27日(水) 13:00~15:00 会議室

評議員4名と学校側6名が出席

(1) 生徒会役員生徒による学校紹介

(2) 授業参観

(3) 学校評議員協議

5 会議の概要

(1) 授業参観等の感想

感想1:羽島北高校の生徒は、穏やかな性格の生徒が多く好印象である。外部の人とも気持ちよくコミュニケーションが取れる。授業では先生と楽しそうにやり取りする姿も見られ、活気があった。特進クラスでは、様々な学習の機会を与え、知識・理解力をさらに伸ばせるとよい。

感想2:どの授業も、生徒たちは落ち着いて真面目に受けていた。グループでの活動は活発で、先生方の指導に敬服している。

感想3:生徒たちと教員が楽しく明るい雰囲気の中で授業を行っている。昔の授業の雰囲気とは大分違う。アクティブラーニング等の授業改善が進んでいると感じる。とにかく先生の元気がすごい。

感想4:授業の形態が、自分たちが高校生の頃とは違ってきており、生徒がお互いに話し合っ

課題に取り組む姿がとても良いと思った。生徒については全体的におとなしく優しい印象を受けた。生徒会の生徒による学校紹介プレゼンテーションはわかりやすく、羽島北高校の様子がよく分かった。

(2) 学校の概要説明：教務部、進路指導部、生徒指導部より今年度の取り組みについて

各部より、本校の現状や具体的な取り組みについて説明。

(3) 協議 これからの本校に期待することについて

意見 1：来年度から単位制となりカリキュラムも新しくなるが、学力を伸ばしつつ地域と密接につながる高校になってもらいたい。地元の事業所（老人介護施設）としても、インターシップなど門戸を広げ、羽島北高校の生徒を積極的に受け入れていきたい。人の役に立てるという経験をすることが、生徒の人間的成長につながる。

意見 2：もともと羽島北高校は地域に進学校がほしいという地元の人々の願いのもとに生まれた学校である。地元の方には「思い」があるので、このまま改革を進めていただき、地域との接点も増やして行ってほしい。羽島北高校の近くには大学・短大、大きな中学校もあり、そうした学校と連携して学校を活性化してほしい。地域との関わりについては小さな枠にとらわれず、より大きな視野で地域とのパイプを作っていけるとよい。

意見 3：今年 2 月にもえぎの里で、地産地消、ごみを出さない料理をテーマに教室があり、羽島北高校の生徒が 20 名ほど、参加してくれた。これからも積極的に参加してもらいたい。

意見 4：女性の会では、見守り隊というボランティア活動を行っている。生徒のみなさんには、事故に遭わないように気を付けてほしい。

意見 5：羽島北高校は、岐阜市南部、羽島郡・羽島市など地元から通う生徒が多いので、地域と連携した取り組みを積極的に推進していけるとよい。単位制になれば、生徒は自分が希望する進路にあった科目選択が可能となり、将来に向けた「自分探し」が一層進むこととなる。単位制に向けた準備は大変だと思うが、単位制を契機に魅力のある学校になっていくことを楽しみにしている。

質問：単位制になってから開講される科目は外部講師によって授業が行われるのか

回答：大学との連携による科目以外については、基本的に本校教員が授業を行う。

6 会議のまとめ

授業参観については、評議員の多くの方から、生徒たちの真面目に落ち着いて取り組む様子や積極的に活動する姿が良かったとのご感想をいただいた。特に、生徒と教師のやりとりやグループ活動といった、コミュニケーションを重視した活動を積極的に行っていることに対しては、授業改善の成果として高く評価していただいた。

これからの羽島北高校に期待することについては、多くの意見をいただいた。

まず、地域との連携について、地域のイベントやボランティア活動に積極的に参加することが、生徒の自己有用感や充実感を高めるとともに、羽島北高校の認知度を上げることに繋がることが再確認できた。また、羽島北高校の生徒が活躍する場を提供したいとの発言をいただき、今年度立ち上げた「ゆいまーるプロジェクト」を後押ししていただいた感があった。本校創設の頃の地元の思いにまで遡って、大きなエールをいただけたことを嬉しく思う。

単位制の立ち上げについては、生徒からも親からも「選択される」学校になるべく、未来を拓ける学校という点を前面に打ち出して、アピールするとよいとのご助言をいただいた。

今回、ご指摘ご助言いただいたことをもとに、一層、活力と魅力ある学校にしていきたい。